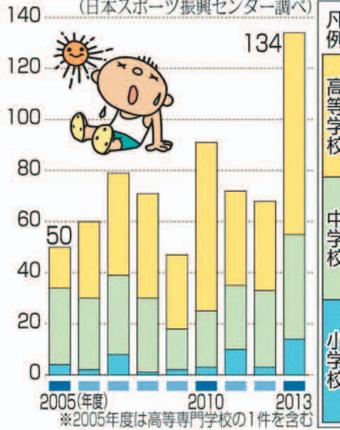


年	組	名前
---	---	----

大分県内の学校で近年、熱中症の発生件数が増えています。

県内の学校での熱中症発生件数



昨年度

県内の学校で近年、熱中症の発生件数が増えている。県教委が日本スポーツ振興センター(東京都)に照会したところ、昨年度は134件に上った。データが集計できた2005年度以降では最多。記録的猛暑だったことや、熱中症への意識が高まり診察を受ける子どもが増えたことが要因とみられる。例年、梅雨明けで気温が上がると増えるため、これから注意が必要になる。

学校で熱中症 最多134件

部活動や体育で多発 小まめに水分補給を



休憩して水筒の水やお茶を飲む野球部の生徒ら＝大分市の上野ヶ丘中学校

センターは契約する学校で起きる熱中症はほとんどが部活動、体育の授業とかが病気をした場合、医療費を支給する。県教委によると、県内ほとんどの児童生徒が加入している。発生件数は支給の対象となる5千円以上の医療費がかかったケースを数えた。センターによると、学校健康は「軽い症状でもきち

センターや県教委は予防の原則として▽運動は休憩を頻繁に入れ、小まめに水分補給をする。0・1▽0・2%の食塩水がいい▽夏場でなくとも、急に暑くなった時に起きる。運動を軽くし徐々に体を暑さに慣らす▽肥満傾向や体力が低いと熱中症になりやすく、自分に合わせて運動するーなどを呼び掛けている。

部活動の現場では既に対策が取られている。今月上旬の大分市上野ヶ丘中学校、放課後のグラウンドで生徒たちが小まめに水筒の水やお茶を飲んだ。野球部主将の亀山颯太君(13)は「2年生は『最近急に暑くなってきたので、今までより水を飲むように心掛けています』と話した。

全体で見ると、高校生が372件と55・4%を占め、中学生が252件の37・5%で続く。センターは「中学高校で部活動の練習が本格化するためではないか」とみている。

(2014年7月14日朝刊21面)

①熱中症は何をしているときに多く起きているでしょう。

.....

.....

.....

.....

②件数が増えたのはどうしてだとみられていますか。

.....

.....

.....

.....

③熱中症を防ぐために気を付けることは何と書いてありますか。また、ほかに自分でも考えてみよう。

.....

.....

.....

.....